

英語1B (English 1B)					担当教員
					教授 實川 眞理子
科目群	開講期	授業形態	単位数	必修等	
外国語	1年次 後期	講義	1.5単位	必修	

【概要】

英語文献を理解して自分の研究に活かし、海外出身の同僚と意思疎通を図っている自分をイメージしよう。そのイメージを実現するための基礎は、中学校・高校時代に学んでいる。しかし、期末試験や大学受験のために「英語を」学ぶ姿勢がついてしまっている人が多い。今度は方向転換して、道具としての「英語で」自分の学びを進めていくために、文法や構文を見直し、そのうえに英語の4技能を築く土台づくりを行う。

【授業の一般目標】

教科書は、TOEIC300～400点代前半の学習者向けの、基本的なものを使用する。1時間あたり1章として設計されているので、1コマ2時間のこの授業では、原則として2章ずつ進む。文法教科書で予習してきたことを、Reading、Listening、Writing、Speakingの4技能として使えるようになることを目指して、授業時間内に文法解説と応用練習を行う。1学期が終わったところで、教科書24章でカバーした文法を、自らの必要に応じて使いこなすための基礎が身についていることを目標とする。

【準備学習(予習・復習)】

毎時、教科書の練習問題の答え合わせから始めるので、参考文献だけでなく、中学校・高校の教科書や受験参考書など、何を使ってもよいから、必ず問題に解答しておくこと。ネイティブの方に尋ねるのも大歓迎である。授業中に応用練習として使用する英語素材は教員が選ぶことを基本とするが、自分で「これを読んで理解したい」「これが聞き取りたい」「こういうことを発信したい」というものがあれば、課題の文法項目の応用に相応しいものならば採り入れるので、積極的な参加を期待する。授業終了後には、課題の項目が使いこなせるようになっているか、予告なしにクイズを行うので、確認・復習を忘れずに行うこと。

【学習項目・学生の到達目標】

No	学習項目	担当教員	学生の到達目標
1	イントロダクション/UNIT1	實川	英語で自己紹介 / 日本語の語順と英語の語順、5文型を理解する
2	UNIT2/UNIT3	實川	自動詞と他動詞 / 目的語、二重目的語を理解する
3	UNIT4	實川	補語、目的語を説明する補語を理解する
4	UNIT7/UNIT8	實川	時制：原形、現在形、現在進行形 / 時制：過去形を理解する
5	UNIT9/UNIT19	實川	時制：完了形 / 受動態と能動態を理解する
6	UNIT10/UNIT24	實川	時制：未来の話 / 仮定法を理解する
7	UNIT11	實川	助動詞を理解する
8	UNIT12/UNIT15	實川	名詞 / 動名詞、不定詞を理解する
9	UNIT13/UNIT14	實川	形容詞と副詞 / 形容詞句、副詞句を理解する
10	UNIT5/UNIT6	實川	疑問文 / 否定を理解する
11	UNIT16/UNIT17	實川	前置詞を理解する
12	UNIT18	實川	比較を理解する
13	UNIT21/UNIT22	實川	関係代名詞 / 関係副詞を理解する
14	UNIT20/UNIT23	實川	接続詞 / 語法を理解する
15	総括・まとめ		

	(書名)	(著者・編者)	(発行所)
教科書	College Grammar Pathfinder—基本文法から始める大学英語—	本多吉彦・土屋武久	金星堂
参考書	関先生が教える世界一わかりやすい英文法の授業	関正生	中経出版
	大学生のための英文法ピフォー&ア	豊永彰	南雲堂

フター

【成績評価方法・基準】

定期試験の成績を中心に、出席点、課題の提出、授業中の貢献度などを併せて評価する。

【オフィスアワーなど担当教員に対する質問等の方法】

基本的には水曜日午後 3 時から 5 時をオフィスアワーとしますが、所用が入る場合もありますので、必ず事前にアポイントメントをとってください。詳しくは、初回の授業で説明します。